

2026 SPRING

Vol.492 —

5月号



# Dokkyo Picks

獨協と未来の架け橋となる広報誌

学長メッセージ

次の時代を切り拓く

特集：施設紹介

**DOKKYO LIFE**

CAMPUS NEWS

学生食堂 Renewal

獨協大学の防災／DOKKYO SDGs

芸術・文化に触れよう！／ぶらりらいぶらり



次の時代を切り拓く  
— 学長 前沢 浩子



前沢 浩子(まえざわ・ひろこ)

津田塾大学学芸学部、同大学大学院(文学修士)、東京医科歯科大学教養部助教授を経て、獨協大学外国語学部英語学科に就任。専門はイギリス文学。主著は「生涯450年シェークスピアと名優たち」(2014年)、「じゃじゃ馬ならし」(2023年)。

2006年 獨協大学外国語学部英語学科助教授  
2011年 獨協大学外国語学部英語学科教授  
2017年 英語学科長  
2020年 国際交流センター所長  
2024年 学長

実直・誠実を礎に、考える力を育む

獨協大学は一九六四年の創立以来、「大学は学問を通じての人間形成の場である」という建学の理念を掲げてきました。大学の正門の近くには、創設者である天野貞祐先生の直筆によるこの言葉を刻んだ石碑があります。その筆致から伝わる誠実さや実直さが、大学の学風の原点であるように感じます。

大学の学生には、地に足をつけ、自分の進路を等身大で模索しようとする姿勢があります。また、卒業生の中には、公務員や教員として地域の中核を担う人、企業や組織で日本の社会や経済を支える存在として活躍する人も数多くいます。変化のスピードが速く、社会情勢が不透明な今、誠実で実直であることは、改めて評価されるべき資質であり、これからの社会を見据えて、これまでと変わらず、大切に守っていきたくと考えています。

そして、大学生活を通して学生たちに期待するのは、「独立の人格」を育むこと、すなわち自分で考え、自分の言葉で語り、自らの行動を選べる力を身につけることです。私たちは家庭、地域、大学など、さまざまなネットワークの中で支え合いながら生きています。その中でも、一人ひとり独立した人格を持つこと



創設者 天野貞祐先生の言葉が刻まれた「建学の碑」

が、社会のよりよい成長につながるのではないのでしょうか。ときに周囲の空気に流されそうになる場面があるかもしれませんが、そんなときこそ、同調するだけでなく、自分の考えを言葉にするささやかな勇氣を持つてほしいと思います。その勇氣は、世界を知り、歴史を理解し、他者へ共感する気持ちを持つことで養われます。大学の豊かな学びや実践の場を通して独立の人格を育み、未来を切り拓いてほしいです。

進化する教育と人材育成

現代社会には、国際紛争や人権問題、環境問題、急速なAIの発展など、従来の学問分野が期待されています。また、リニアールされた学生食堂は、食事の場であると同時に、談話の場としても活用できるよう、シンボルツリーや観葉植物、靴を脱いでくつろげるエリアを設けるなど、より快適な場所へと進化しています。

これらのソフト、ハード両面の環境を十分に活用しながら、他者と関わり、対話を重ねる経験を積むことが、自ら考える力を育み、社会の中で主体的に生きるための礎となっていくはずで、獨協大学という環境の中で、学問の楽しさと向き合いながら、自らの力で立つ力を育んでください。そして、それぞれの場所が社会を支える存在となることを期待しています。それが、「次の時代を切り拓く」ことへとつながっていくのだと私は考えています。



みなさんには大いに活用してほしいと考えています。本学には、指導力の高い教員が多く、ゼミや授業を通してみなさんと向き合い、対話を重ねる環境が整っています。教育の原点は対話にあります。学生と教員が互いに一人の人格として向き合い、意見を交わし、議論を深める中で、学びはより主体的で実りあるものへと変わっていきます。ぜひ、授業の内外を問わず、教員との対話の機会を積極的に活用してください。

学びを支えるハード面の環境も充実しています。本年4月からは、新しい国際交流宿舎「Dokkyo Global House」が運用を開始し



野だけでは解決できない地球規模の課題が山積しています。また、国内でも海外出身の方たちとともに暮らし、働く時代になってきており、異文化への理解が不可欠です。そのため、大学に求められているのは、国際的な視野を持つてこうした課題に向き合い、解決へ導くとともに、多様な社会の中で共生できる力を持つ人材を育てることだと捉えています。すでに、全学生を対象とした「情報科学教育プログラム」や、交流文化学科生対象の「ツーリズム・キャリアプログラム」、言語文化学科生対象の「海外実践プログラム」など、時代の変化に合った実践的なプログラムが始まっています。こうした取り組みを基盤として新たに、学部・学

科の枠を越えて学べるグローバル人材育成の教育プログラムをスタートさせる予定です。

このプログラムでは、グローバル・リーダーおよびグローバル・シチズン(地球市民)の養成を構想しています。そのため、人権や平和、多様性と寛容といった国際的に普遍的な価値への理解を深めるとともに、さまざまな学問分野の視点から学びを横断的に展開していきます。また、外国人留学生と一緒に学ぶ機会を多く設け、多様な価値観に触れる環境を整えていく予定です。

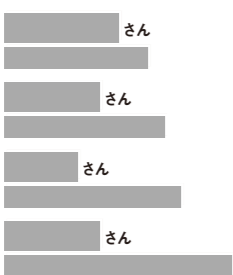
このように進化する教育のベースには開学以来、一貫して力を入れてきた語学教育があります。本学では、英語やその他の言語の運用能力を身につけるだけではなく、「言語を使って何をするか」に重きを置いて教育を行ってきました。生成AIの台頭によって翻訳や文章生成の効率化が進んでいるものの、AIを活用して意図したことを伝えるには、より高度な語学能力が必要な時代です。時代の要請に合った語学教育に今後も引き続き、力を入れていきます。

対話と議論を深める教育環境

本学にある多様な教育リソースも、学生の

SPECIAL THANKS

撮影に協力してくれた学生  
(写真左から)



天野貞祐記念館編

# DOKKYO LIFE

獨協大学にはさまざまな施設があります。  
あなたの「コレをやってみよう」がきっと叶うはず。  
今回は天野貞祐記念館の内部に潜入！  
各施設で活躍する学生たちとともに  
紹介します。



オープンキャンパスでは  
私たち入試課の学生スタッフも  
学内をご案内しています！

## GLOBAL FRONTIER



天野貞祐記念館2階国際交流センター・日本語教育オフィスと、3・4階ICZを合わせてGLOBAL FRONTIERと呼び、SNS等で、留学や外国語講座について情報を発信しています。

## 1~3F | 図書館

個人で資料を利用するだけでなく、  
グループ学習の場としても活用できる

図書館開室  
カレンダーは  
こちら



BIVSが発行している「BIVSの本だな」。第21号では10年間の活動を振り返りました。

私たちのおススメを紹介する展示コーナーの選書、POPやポスターの製作も担当しています！



学生の視点から図書館の魅力を発信！  
図書館学生サポーター-BiVS(ビボス)

※BIVSのSNSアカウントはP.14に掲載

100万冊超の図書や約1万4000タイトルの雑誌、日本語・外国語の新聞など、充実した資料がそろっています。電子資料やデータベースも利用でき、学習スタイルに合わせて活用できます。

## 天野貞祐記念館の施設をご紹介します！



## 3~4F | ICZ (International Communication Zone)

“語学のDOKKYO”を象徴する  
コミュニティスペース



所属や学年、国籍、年齢に関係なく、誰もが外国語や外国の文化に触れ、交流することのできるコミュニケーションスペースです。留学生との交流イベントや語学力向上のための講座も多く開催されるので要チェック！

季節ごとにイベントを開催。語学力向上だけでなく、異文化交流も深まりますよ！



学生の国際交流をサポート！  
ICZアンバサダー

本誌に載せきれなかった記事をnoteに掲載しています  
ぜひご覧ください！

note



## 1F | キャリアセンター

1年次から利用でき、進路選択のための準備や対策を立てられるよう、各種行事やさまざまな資料が用意されています。就職支援や求人紹介、進路・就職活動全般の相談にも応じています。  
※7月号ではキャリアセンターのキャリア支援について取り上げる予定です



## 1F | 獨協歴史ギャラリー

獨協学園の歴史を知り大学の伝統を感じることができます。



## 1F | 保健センター、カウンセリング・センター

心身の不調や悩みなど健康面でのサポートを行っています。



保健センター カウンセリング・センター

## 1F | 学生支援室

障がいのある学生の支援を行っています。



## 2F | 国際交流センター、日本語教育オフィス

国際交流をしたい学生と留学生をつなぐ場所



国際交流センターでは、学生の留学支援や海外大学との学生交換を含む学術交流、国際シンポジウムの開催などを積極的に推進。日本語教育オフィスは、本学で学ぶ外国人留学生を対象とした日本語プログラムの運営・支援を行っています。



外国人留学生を対象に日本語学習のサポートをしています。  
時には一緒に観光することも！

外国人留学生の学習をサポート！  
日本語学習サポーター

## 二〇二六年度入学式を挙

四月一日、35周年記念館アリーナにて二〇二六年度入学式を挙行し、学部生二九五三名、大学院生八名が新たなスタートを切った。



駐日ドイツ連邦共和国大使館 シュテファン・ビーダーマン参事官  
前沢浩子学長

【学科】	
ドイツ語学科	116名
英語学科	262名
フランス語学科	114名
交流文化学科	144名
言語文化学科	179名
経済学科	314名
経営学科	278名
国際環境経済学科	125名
法律学科	238名
国際関係法学科	106名
総合政策学科	77名
合計	1953名
【大学院】[博士前期課程]	
法学研究科	2名
外国語学研究科	4名
経済学研究科	1名
合計	7名
【大学院】[博士後期課程]	
外国語学研究科	1名
合計	1名

して、新たな課題が見えてくる。その時間をかけたプロセスで体験できる知的喜びを、皆さんにはできるだけ多く味わってほしいと願っています。

また古代から哲学者たちは「学問」の目的を考察してきました。アリストテレスは学問の目的は「幸福」であると論じました。学びを通して身につけた知性と倫理性を実践してより善く生きていくことを幸福と考えたのです。カントは世界はどうあるべきか、人はどう生きるべきかを問う学問を「自由の学問」と呼びました。人間は自由な理性を持ち、より善く生きるために、学問をすると考えたのです。今日、社会は急速に変化されがちですが、学問とは、本来、人間を自由にし、その人生を豊かにするものです。これからの4年間、その学問の楽しさを実感し、「善く生きる力」を逞しく育んでください。

続いて、猪口雄二「獨協学園理事長は「本日、満開の桜並木を歩いてきたことと思います。皆さんが獨協大学での生活を始めるにあたり、その施設、教育体制など、周囲の環境は整えられています。皆さんはそこに飛び込んで、思う存分、大学生活を謳歌し、学びを深め、自分を見つめ、人間関係を構築していきましょう。これからは獨協大生として、自らの周囲だけでなく、日本さえも越えて、世界を見据えた学びを獲得してください。学問的あるいは人間的に豊かな学生生活を送られることを心より願っています」と激励の言葉を贈った。

また、駐日ドイツ連邦共和国大使館シュテファン・ビーダーマン参事官は、次のようにお祝いのメッセージを述べた。「皆様は本日人生のターニングポイントに到達しました。これから新しい一歩を踏み出します。新しい体験をして、色々試し、実験してください。それがきっと自分を知ることに繋がります。そして、ぜひ学生の間に外国で生活してみることチャレンジしてみてください。皆様の世代は気候変動や、デジタル化等難しい課題に直面していますが、これまで築いてきた価値観を守ることが必要です。皆さんはこの素晴らしい教育環境の中でそれを守るために努力できることと思います。皆さん個人として皆さんの世代のご健勝をお祈りしています。学生生活を心より楽しんでください」

入学式終了後、新入生たちは学生証の交付を受け、その後キャンパス内の各所で記念撮影をする姿が見られた。

## 第五十九回卒業式・第四十八回学位記授与式を挙

三月二十日、第五十九回卒業式・第四十八回学位記授与式を挙行しました。八八四名の卒業生、修了生が旅立ちの日を迎えた。



式典で、前沢浩子学長は卒業生たちに向かつて、次のように呼びかけた。「獨協大学は学則の第5条で「複雑な国内および国際情勢に対処できる実践的な独立した人格を育成することを目指す」と謳っています。「独立した人格」とは「同調圧力」や「ポピュリズム」と呼ばれるような現象や風潮のさなかにあっても、自分で考え、自分の判断や感性に従って、発言し、行動できる人です。しかしそれは決して簡単なことではありません。ときに勇気が必要です。小さな勇気を持った独立した人格と生き続けるために、今日皆さんに、お願いしたいことがあります。卒業の記念として、何か一冊の本を読んでみてください。一人で考える勇気、自分の心に耳を傾け、声を発する勇気は世界を知り、歴史を理解し、他者に共感する力を育むことによって養われます。勇気を支えるのは知性です。」

学位記取得者数は次のとおりです。  
( )内は総代氏名。

◆学 士	
ドイツ語学科	128名 (五十嵐 裕理)
英語学科	263名 (石附 堅斗)
フランス語学科	89名 (菅原 英莉)
交流文化学科	108名 (萩野 雅夕)
言語文化学科	129名 (小栗 野愛)
経済学科	284名 (小田 星南)
経営学科	342名 (齋藤 響)
国際環境経済学科	117名 (金井 葉月)
法律学科	270名 (高塚 幸輝)
国際関係法学科	71名 (大熊 真由)
総合政策学科	75名 (宮澤 早紀)
合計	1876名
◆修 士	
法学研究科	2名 (倉田 充明)
外国語学研究科	5名 (DA SILVA RICARDO DIEGO)
1名 (羅 映東)	
経済学研究科	8名
合計	

「独立した人格」という言葉の背景には、大学創設者天野貞祐先生の思想とカントの哲学があります。その思想哲学を端的に表現した有名な言葉を、最後に皆さんにお送りします。カントの「実践理性批判」の結論に出てくる「私の上なる星と私の内なる道徳律」という言葉です。星々の運行は、自然の法則によって決まっていますが、私たちの思想、私たちの発言、私たちの行動を決めるのは私たち一人の心の内側にある道徳律です。「独立した人格」とはどのような「内なる道徳律」を持った人間のことで。獨協大学を今日、卒業される皆さんは、「私の上なる星と私の内なる道徳律」という言葉を胸に刻み、独立した人格として、「一人、勇気をもって歩んでいくください。」

続いて、猪口雄二「獨協学園理事長は、「学びも人生も必ずしもうまく行くものではありませんが、その時に最も大切な事は、嘘や偽りのない真摯な姿勢です。嘘偽りのない姿勢である事で、多くの信頼を勝ち取り、評価を上げ、そして皆さんの人生を豊かなものにするでしょう。獨協大学で学んだ事に自信と誇りを持ち、その学びをさらに発展させ、日本とは言わず世界に視野を広げて、自身の未来に大きな目標をもって歩んでいく欲しいと思います」と述べ、卒業生を激励した。

さらに高木大介同窓会会長から、「皆さんは、今日からは獨協大学同窓生になります。たとえ遠く離れても決して一人ではありません。今日のような晴れやかな顔が、人の胸を打ち、出会う人の記憶に残り、運命を切り開いていきます。これからもこの獨協大学での楽しい思い出を胸に、ぜひこのよ顔を思い出してください。獨協大学同窓生として、これからの皆さんの人生が素晴らしいものになると確信しています」と祝辞を述べた。

卒業生を代表し、北田陸さん(経済学部国際環境経済学科)が、「私たちの大学生活は決して順風満帆なことばかりではありませんでした。しかし、それをつひとつ乗り越えてきたからこそ、今の私たちがいます。この4年間で得た知識、そしてかけがえのない経験は、これからの人生を歩む上での確かな糧となり、生涯の宝となります。正解のない問いが次々と現れる現代社会において、時には困難に直面するかもしれませんが、建学の理念のもとで学び続けた私たちがならば、どのような変化にも臨むことなく、自らの手でより良い未来を切り拓いていけると信じています」と答辞を述べた。

式典終了後には、本学の35周年記念館内で祝賀会が開催され、袴やスーツを着た卒業生が友人らと思い出を語りあう様子や、記念撮影をする姿が見られた。

## 新任教員紹介

(五十音順)

氏名(ふりがな) 学部学科・役職  
①最終出身校 ②主な担当科目 ③ひとこと



B. バッタ  
(B. バッタ)  
法学部  
国際関係法学科  
専任講師

- ① 神奈川大学大学院 外国語学研究科 欧米言語文化専攻 博士後期課程 博士(文学)
- ② English(全カリ英語)
- ③ Learning is all about having the courage to begin something and the determination to keep challenging yourself. Let's learn and grow together.



M. コウオジェイ  
(M. コウオジェイ)  
外国語学部  
英語学科  
准教授

- ① デューク大学 アート・美術史・視覚文化学科 日本美術史専攻 博士(美術史)
- ② Special Topics in Japanese Studies 等
- ③ My students are my teachers.



アルシャガ 香澄  
(アルシャガ・かすみ)  
外国語学部  
英語学科  
専任講師

- ① デ・ラサール大学大学院 英語・応用言語学 研究科 博士後期課程 博士(応用言語学)
- ② 国際英語論、Communication Skills I・II、Academic Presentation Skills 等
- ③ 自分の持つ素材を発見し、さらなる成長のために一緒に楽しく学びましょう。



岡崎 龍  
(おかざき・りゅう)  
外国語学部  
ドイツ語学科  
専任講師

- ① フンボルト大学ベルリン 哲学部 博士課程 博士(哲学)
- ② ドイツ語文法基礎 I・II、ドイツ語圏の言語・文学・思想 等
- ③ ドイツ語圏の研究に定評のある獨協大学で教育に携われることを嬉しく思います。よろしくお願いたします。



倉田 洋  
(くらた・ひろし)  
経済学部  
経済学科  
教授

- ① 北海道大学大学院 経済学研究科 博士後期課程 経済学専攻 博士(経済学)
- ② 国際経済学 a・b 等
- ③ 経済学は望ましい社会を考える学問です。ともに学び考えていきましょう。



小林 大志  
(こばやし・たいし)  
外国語学部  
ドイツ語学科  
専任講師

- ① 東京外国語大学大学院 総合国際学 研究科 博士後期課程 言語文化専攻 博士(学術)
- ② ドイツ語文法基礎 I・II、ドイツ語圏の言語・文学・思想 等
- ③ ドイツ語学が専門です。ドイツの名を冠するこの大学でみなさんと過ごせることを楽しみにしています。



小林 徹  
(こばやし・とおる)  
経済学部  
経済学科  
教授

- ① 慶應義塾大学大学院 商学研究科 後期博士課程 商業専攻 博士(商学)
- ② 労働経済学 a・b 等
- ③ 働く環境が大きく変化中、この変化をどう捉えどう対処すべきか、経済学で共に考えましょう。



齋藤 雪絵  
(さいとう・ゆきえ)  
国際教養学部  
言語文化学科  
准教授

- ① テンプル大学大学院 教育学研究科 博士課程 応用言語学専攻 博士(教育学)
- ② 英語 I・II・III・IV、上級英語演習 I、英語科教科教育 I・II・III 等
- ③ 語学学習成功の鍵は継続です。目標に向かって自分の学習を管理できる自律した学習者になれるよう一緒に考えましょう。



関根 路代  
(せきね・みちよ)  
外国語学部  
交流文化学科  
准教授

- ① 獨協大学大学院 外国語学 研究科 英語学専攻 博士後期課程 博士(英米文学)
- ② Reading for Genres I・II、Composition I・II、英語圏の文学と文化 等
- ③ 表現方法によって相手との関係は変化します。ことばを学び、住みやすい世界と一緒に創造していきましょう。



英 美由紀  
(はなぶさ・みゆき)  
外国語学部  
英語学科  
教授

- ① お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 博士後期課程 比較社会文化学専攻 博士(人文科学)
- ② 文学・文化・歴史文献セミナー a・b 等
- ③ 教室に集まってくれる皆さんとどのような授業を創っていくことができるか、楽しみにしています。



原 みどり  
(はら・みどり)  
経済学部  
経営学科  
准教授

- ① 九州大学大学院 経済学府 博士課程 経済システム専攻 博士(経済学)
- ② 人的資源管理論 a・b 等
- ③ 組織において人は重要な存在です。働き方を共に学び、考えていきましょう。



山下 俊一  
(やました・しゅんいち)  
外国語学部  
交流文化学科  
特任教授

- ① 東京外国語大学 外国語学部 スペイン語学科 国際関係専修 文学士
- ② 航空事業論、English for Tourism and Hospitality I・II・III・IV 等
- ③ 航空・観光分野で広く役立つ知識を楽しく学んでいきましょう。「どうせやるなら、あかるく、楽しく。」

## 全学共通カリキュラム外国語科目群「英語」部門のFDミーティング開催



3月26日、全学共通カリキュラム外国語科目群「英語」部門のFD(ファカルティ・ディベロップメント)ミーティングが開かれ、49名の担当教員が参加した。全カリ英語は、英語を専攻としない学部学科の学生が履修する英語科目で、EGAP(一般学術目的の英語)教育を基礎としている。

全体会では、非常勤講師が所属する経済学部・塩田学部長からのメッセージが披露され、重要事項が報告された。その後、リスニング・スピーキング等の科目別分科会が行われ、授業方法や生成AI対応などについて、活発な議論が行われた。大変有意義なFDとなった。

## オープンカレッジ特別講座 「生成AIが巻き起こす 半導体開発競争 —なぜ「半導体」が重要となるのか—」



3月21日、E-102(東棟1階)でオープンカレッジ特別講座が開催された。どなたでも受講できる生涯学習講座「オープンカレッジ」の無料講演会で、対面・オンライン併用により415名が受講した。講師は小林哲也経営学教授。講座では、「半導体戦争」とまで呼ばれるような事態を理解するため、米中対立の経緯等から半導体開発をめぐる現状を分析し、日本の

半導体産業の可能性について考察した。

受講者アンケートでは講座内容に満足したという感想が多数寄せられ、生成AIをめぐる半導体開発競争の実態について深く知る機会となった。



## レンヌ第2大学など新たに 5大学と学術交流協定を締結



本学は、2025年12月から2026年3月にかけて新たに5つの大学と学術交流協定を締結した。(以下、締結順)

- レンヌ第2大学(フランス)(2025年12月23日付)
- サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学(スペイン)(2026年1月19日付)
- ケベック大学モントリオール校(フランス語圏としてのカナダ)(2026年2月19日付)
- バジャジャラン大学(インドネシア)(2026年3月2日付)
- ポートランド州立大学(アメリカ)(2026年3月5日付)



サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学(スペイン)

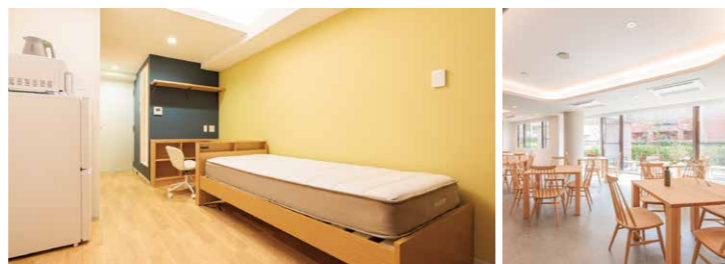
## 2026年度入試状況総括

2026年度の獨協大学入試志願者数が確定した。10,11月に実施した学校推薦型選抜、総合型選抜では1,427人(前年比103.1%)の志願者数となった(編入・再入学は含まず)。また一般選抜においては、23,642人(前年比103.6%)の志願者数となった。年内入試と一般選抜を合計すると、全体で25,069人(前年比103.6%)となった。今年度も年内入試、一般選抜とも前年度を上回る志願者数となり、3年連続の志願者増となった。

## 国際交流宿舎「Dokkyo Global House」の運用スタート



2026年4月より、新たな国際交流宿舎「Dokkyo Global House」の運用が始まった。同宿舎は主に海外の協定校からの外国人留学生の宿舎利用を目的として、民間企業が所有する社員寮の一部を一括して借り上げたもので、約30の居室数を有し、家具付きの個室に加え、共用のキッチン、ラウンジ、ランドリールームが完備されている。従来からの国際交流宿舎(UR物件)と同様、居室に空きがある場合は在学生の入居が可能。日本での生活をスタートする外国人留学生との共同生活を通じて多様な背景を持つ学生間の異文化理解と交流を促進し、本学の国際化推進につなげることを目指す。



## 小中学生向け英語講座を実施



2月21日、28日の2日間、天野貞祐記念館3階のICZで小中学生向け英語講座を実施した。

本講座は、小学校5年生から英語が授業科目となり学習時間数が増えた一方で、英語が苦手・嫌いな小学生や授業についていけない中学生が増加しているという背景を受け実施。河合裕美言語文化学科非常勤講師が、英語本来の楽しさを感じてもらうためにストーリーテリングを活用した講座を行い、小学生18名、中学生12名、合わせて30名が受講した。

受講生からは、「少し難しく感じる場所もあったが、最後まで楽しく学ぶことができた」といった声も聞こえ、盛況のうち終了した。



本学を受験した理由を聞くアンケートによると、オープンキャンパス参加の影響度が大きい。高校生や保護者の方には、是非本学のオープンキャンパスにお越しいただき、獨協大学を体感してもらいたい。2026年度のオープンキャンパスは、6月7日(日)と、8月1日(土)・2日(日)・22日(土)・23日(日)に開催予定。詳しくは、獨協大学入試情報サイトをご覧ください。



## 図書館総合展2025のポスターセッションで 運営委員会特別賞を受賞



2025年10月に開催された国内最大の図書館に関する展示会である「図書館総合展」で、獨協大学図書館と学生サポーター「BiVS(ビボス)」が協働でポスターセッションに出展し活動紹介を行った。来場者投票の結果、運営委員会特別賞を受賞した。第1位を受賞した2024年に続き2年連続の受賞となった。

2月に本学にて表彰式が行われ、図書館総合展運営委員会から図書館とBiVSに表彰状が授与された。

## 獨協大学英語教育研究会(DUETA)2025年度秋学期「特別企画」を開催



3月21日、獨協大学英語教育研究会主催の「DUETA 2025年度秋学期特別企画獨協大学教職課程設置60周年記念シンポジウム:英語教員になるために大学で何を学ぶべきか」が開催された。羽山惠准教授(外国語学部英語学科)がコーディネーターを務め、的場祐一氏(千葉市立千城台南中学校教諭、本学卒業生・修了生)、針谷貴子氏(昌平中学校・高等学校教諭、本学卒業生・修了生)、勝呂奈緒氏(八潮市立潮止小学校教諭、本学大学院「英語教育研修プログラム」受講生)、野村卓矢氏(外国語学部英語学科4年生)が登場。各々の英語教育者としての経験談を交えながら、本学での学びが日々の礎になっているということが語られた。

※所属は2026年3月時点



## クラブ・サークルに入ろう!



獨協大学学友会は課外活動の総称であり、毎年新生に配布されている学友会誌「雄飛」では、文学から音楽やダンス、球技、武道に至るまで幅広い活動に取り組む獨協大学のクラブ・サークル約120団体を紹介しています。

学友会は有意義な学生生活に不可欠な活動です。ぜひ学生ならではの創造力を発揮し豊かな交友関係を築きましょう。



2026年度学友会誌「雄飛」

各団体の情報は、以下から取得可能。

- 大学ホームページでどんな団体があるか調査  
トップページ▶学生生活▶クラブ・サークル
- 学友会事務課(学生センター3階)でスタッフに相談

MORE INFORMATION

### 活動紹介

#### 管弦楽部

#### 獨協大学管弦楽部 第69回定期演奏会

【日時】2026年6月14日(日)  
開場 14:30 開演 15:00  
【場所】正和工業にしろホール(春日部市民文化会館)大ホール  
【プログラム】A.ドヴォルザーク/交響曲第8番ト長調 Op.88ほか  
【チケット料金】前売券500円、当日券700円(予定)  
申込方法は <https://dokkyo-orchestra.com/> をご覧ください。



前回の様子

#### フラ愛好会 Mehana

2026年2月25日、フラ愛好会Mehanaは、福島県いわき市のスパリゾートハワイアンズで開かれた「第13回全国学生フラ・フェスティバル」に参加した。今回のイベントには過去最多の26団体が出場し、学生たちが日頃の練習の成果を披露した。Mehanaの代表は「練習の成果を多くのお客さんの前で披露できただけでなく、他大学のチームと交流する機会にもなり、大きな刺激を受けた」と語った。



#### マンドリンクラブ

#### 獨協大学マンドリンクラブ 第104回定期演奏会

【日時】2026年6月28日(日)  
開場 14:30 開演 15:00  
【場所】八潮市民文化会館ホール  
【プログラム】亡き女王のためのバヴァーナ、劇的序曲「細川ガラシャ」ほか  
【その他】全席自由・入場無料



前回の様子

## 2025年度秋学期

# 「学生による授業評価アンケート」結果報告

授業評価アンケートは、授業に対する学生のみなさんの意見を伺い、今後の授業内容の改善を目的として各学期末に実施しています。アンケート結果は授業毎に集約し、授業を担当している教員や授業を開講している学部、学科にフィードバックしています。

2025年度秋学期の授業評価アンケートは無事終了しました。大学全体での集計結果をご報告します。

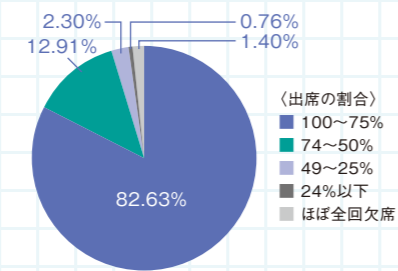
個々の授業の集計結果は、PorTaIIをご覧ください。

### ◆実施状況

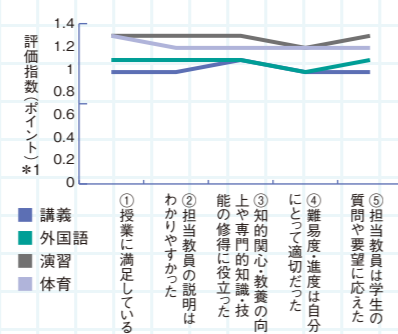
実施期間：  
2025年12月23日(火)～2026年1月20日(火)  
PorTaIIにて実施

	対象者数	回答者数	回答率
25年度秋学期	8,244	2,389	28.97%
24年度秋学期	8,169	2,786	34.1%

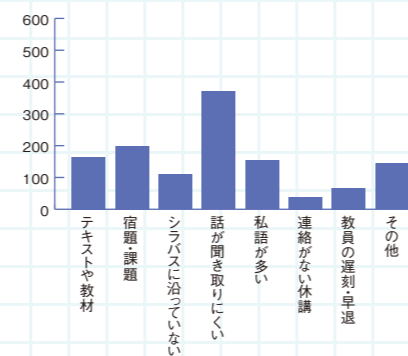
### 1.出席状況(全学平均)



### 2.授業評価(授業形態別)



### 3.各授業の問題点(複数選択可)\*2



\*1 授業に関する5項目の質問の回答を「そう思う=1.5」「ややそう思う=0.5」「あまりそう思わない=-0.5」「そう思わない=-1.5」「わからない=0」として、平均値を算出し、評価指数(ポイント)としました。

\*2 総回答数:15,236件

## 新人事(4月1日付)

### ■役職

- ◇外国語学部長 大重光太郎(再任)
- ◇経済学部長 塩田尚樹(再任)
- ◇法学部長 大谷善道(再任)
- ◇教務部長 田中善英(再任)
- ◇学生部次長 大竹伸郎(新任)
- ◇総合企画部長 高安健一(新任)
- ◇自己点検・評価室長 和田一郎(新任)
- ◇キャリアセンター所長 鈴木涼太郎(再任)
- ◇国際交流センター所長 浅岡千利世(新任)
- ◇エクステンションセンター長 野崎亜紀子(新任)
- ◇環境共生研究所長 秋本弘章(新任)
- ◇経済学科長 秋本弘章(新任)
- ◇経営学科長 大坪史治(新任)
- ◇国際環境経済学科長 松枝秀和(再任)
- ◇法律学科長 安原陽平(新任)
- ◇国際関係法学科長 若尾岳志(新任・兼任)
- ◇総合政策学科長 若尾岳志(新任・兼任)
- ◇外国語学部教務主任 長崎睦子(新任)
- ◇経済学部教務主任 山崎尚(新任)
- ◇法学部教務主任 岡田順太(再任・5月1日付)
- ◇保健センター所長 伊藤晋二(再任)
- ◇保健センター附属診療所長 伊藤晋二(再任)
- ◇カウンセリング・センター所長 田口雅徳(再任)
- ◇法学研究科委員長 納屋雅城(再任)
- ◇経済学研究科委員長 鈴木淳(再任)
- ◇法学研究科主事 柴田守(新任)
- ◇経済学研究科主事 藤山英樹(再任)

- ◇校友会総務部長 関根徹(新任)
- ◇校友会文化部長 藤山英樹(新任)
- ◇校友会体育部長 佐野康子(新任)

### ■退職(3月31日付)

- ◇教員  
伊豆田俊輔\*、川崎聡史\*、常石史子\*、E.本橋、児嶋一男\*、江花輝昭\*、松原裕\*、和田智\*、市原博\*、全載旭\*、岡部康弘\*、黒川文子、堀江郁美\*、高橋均\*、土川孝\*、松本一樹、寺田健人  
※は2026年度非常勤講師
- ◇職員(定年)  
早川真琴、萬谷衣加、水野章子、三村雅英

### ■昇任

- ◇教授  
M.ピティヒ[独]、大澤舞[交]
- ◇准教授  
高林友美[英]、大野恵理[交]  
※〔 〕内は所属学科。 略称は裏表紙参照。

### ■学外研修

- ◇ドイツ語学科  
木村佐千子(2026年4月1日～2027年3月31日)
- ◇英語学科  
柿田秀樹(2026年9月11日～2027年9月10日)
- ◇フランス語学科  
森井良(2026年4月1日～2027年3月31日)
- ◇交流文化学科  
大澤舞(2027年3月20日～2028年3月19日)
- ◇言語文化学科  
金秀晶(2026年4月1日～2026年9月23日)  
野原ゆかり(2026年4月1日～2026年9月23日)  
依田珠江(2026年9月12日～2027年9月11日)
- ◇国際環境経済学科  
中西貴行(2026年4月1日～2027年3月31日)
- ◇法律学科  
網谷壮介(2027年3月29日～2028年3月28日)

### ■特別研究休暇

- ◇英語学科  
A.ゾーリンジャー(2026年9月24日～2027年9月23日)
- ◇言語文化学科  
川村肇(2026年4月1日～2027年3月31日)
- ◇経済学科  
本田浩邦(2026年4月1日～2027年3月31日)
- ◇法律学科  
木藤茂(2026年9月24日～2027年9月23日)  
吉川信将(2026年9月24日～2027年9月23日)



## 安川グローバルチャレンジ奨学金の新設について



このたび、本学卒業生で創設者天野貞祐先生のご令孫である安川ひろし氏(72年済卒)からのご寄付を原資とし、同氏の名を冠した新たな「安川グローバルチャレンジ奨学金」を2026年4月1日から2029年3月31日までの3年間、新設しました。この奨学金により、留学を通じて社会に変革をもたらすグローバルリーダーとなりうる人材の育成を推進します。



## 大学からのお知らせ

### 学校において予防すべき感染症

「学校において予防すべき感染症」は学校における感染拡大防止のため、学校保健安全法・学校保健安全法施行規則により「出席停止期間」が定められています。右記感染症と診断された(疑いも含む)場合、速やかに「感染症入力フォーム」に入力してください。

詳細については、保健センターHP「感染症の取扱いについて」をご確認ください。

### 学校保健安全法施行規則第18条に規定される感染症

- 第一種  
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)、特定鳥インフルエンザ
- 第二種  
インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く)、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
- 第三種  
コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、バラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症(※)

(※)その他の感染症について  
学校で通常みられないような重大な流行が起こった場合に、その感染症を防ぐために必要があるときに限り、学校医の意見を聞き、第3種の感染症として緊急的に措置をとることができるもの

感染症の取扱いについて



### ハラスメント相談に関する外部受付窓口のご案内

本学は、ハラスメントについての相談に応じるため、大学外にハラスメント相談専用の受付窓口を設けています。本学とは独立した外部機関の受付担当者が、プライバシーを守る場所で公正にお話を伺いますので、安心してお越しください。

何かあったら我慢したりせず、事態が悪化しないうちに相談しましょう。

ハラスメント相談に関する外部受付窓口  
住所 埼玉県草加市松原1丁目1番10号  
(獨協地域と子ども法律事務所内)  
電話 080-5431-0970(受付)  
受付時間 月～金 9:30～15:30

詳細についてはPorTaII「ダウンロードセンター」の「学生生活」内「相談・ハラスメント防止」フォルダにあるハラスメント相談ガイドを参照ください。

### 大学Webメールは必ず定期的にチェックしよう!!

#### —多要素認証の設定も忘れずに—

大学Webメールは、授業や履修登録など、学生生活に欠かせない重要な情報が届きます。学生の皆さんはこまめにチェックしましょう。スマートフォン等を利用した「多要素認証」設定も必要です。

大学Webメールに関する解説動画  
YouTube 獨協大学教育研究支援センターチャンネル  
再生リスト「獨協大学Webメール」

問い合わせ先 対面サポート窓口：中央棟1階 CLEAS(クレアス)  
メール：pc-qa@ml.dokkyo.ac.jp

### AED(自動体外式除細動器)について

自動体外式除細動器は、突然の心肺停止の救命措置の際に使用する機器です。

設置場所は、獨協大学HP>学生生活>保健・安全衛生>自動体外式除細動器(AED)で確認してください。

AED設置場所

### 個人情報保護について

本学では、個人情報を扱う場合に生じる人権侵害から個人を保護するために、本学が保有する個人情報の取扱いに関して必要な事項を定め、本人の権利、利益及びプライバシーの保護に努めています。

問い合わせ先 総務課 048-946-1640  
個人情報保護に関する取組み

### 2026年度からの窓口時間変更について (教育研究支援センター)

授業期間・補講日の窓口利用時間(対象:学生)

CLEAS(中央棟1階)	月～金 8:45～17:30 (土は閉室)
東棟4階ヘルプデスク	
A棟2階PCサポートデスク	

上記以外の期間など、詳細は大学ホームページをご覧ください。  
獨協大学HP> MENU > 教育・研究 > 教育研究支援センター > 開室カレンダー

## 退職教員 からの声

2026年3月に定年退職された  
教員からのメッセージを  
お届けします。



江花 輝昭 (えばな・てるあき)  
外国語学部フランス語学科・教授

私にとって獨協大学、特にフランス語学科は常にとて居心地のいい場所でした。昨今の本学を巡る状況を考えますと前途は多難であると思われませんが、皆様力を合わせてこの困難を乗り越えられることを願っています。



児嶋 一男 (こじま・かずお)  
外国語学部英語学科・教授

学生の皆さんには英米の演劇やアイルランドの文学・文化のことも聴講していただきました。先生方や職員の方にはいろいろな委員会などでたくさんのお話を教えていただきました。ありがとうございました。



全 載旭 (ちよん・せうく)  
経済学部経済学科・教授

2001年4月に着任してから、25年間という長きにわたり大変お世話になりました。これまでに会った学生の皆さま、教職員の皆さまのおかげで多くを学ばせて頂きました。この場を借りて心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。



市原 博 (いちばら・ひろし)  
経済学部経済学科・教授

13年間お世話になりました。4つの私立大学で教員を務めましたが、それまでの大学と比べて獨協の学生の皆さんが本当にまじめかつ素直で、素晴らしい教員生活を送ることができました。感謝するばかりです。



岡部 康弘 (おかべ・やすひろ)  
経済学部経営学科・教授

お世話になりました。『役割のあと 何で生きるか』を幻冬舎より5月刊行予定。定年後、多くの人が直面する「役割の喪失」。その不安はどこから来るのか。制度と社会構造から読み解き、これからの生き方を問い直す一冊です。



高橋 均 (たかはし・ひとし)  
法学部総合政策学科・教授

本学は学びの環境が整備され、また地域連携も進んでいます。本学の良さ・伝統を活かしつつ、次の節目の創立70周年に向けて、創造的挑戦を続けてください。教職員及び学生の皆さん、これまで色々と有難うございました。



和田 智 (わだ・さとし)  
国際教養学部言語文化学科・教授

39年間、体験型教育を通じ学生と感動を共有してまいりました。ウィンドサーフィンやカーリング等、本学だからこそ提供できた唯一無二の授業を支えてくれた柔軟な環境に感謝します。最高に幸せな教育者人生でした。

## 学生食堂 Renewal



4月から、35周年記念館2階の学生食堂が生まれ変わりました。高さ5mのシンボルツリーと観葉植物が迎える空間は、キャンパスでより心地よく過ごせる場所へと進化しています。券売機はQR決済や電子マネー対応となり、デジタルサイネージでは臨場感あるメニューを

紹介。人気のアツアツ鉄板メニューに加え、新たな定番「獨協カレー」や一新したどんぶり・定食も好評です。量とカーベットを備えたくろぎエリアでは、常時設置のモニターを利用し、PC接続による資料共有等が可能。学びや交流の場として、ぜひご利用ください。

本誌に載せきれなかった記事をnoteに掲載しています！ぜひご覧ください！

note



学生食堂の中央から学生を見守るシンボルツリー



食事はもちろん、仲間とゆったりとした時間を過ごすことができる



靴を脱いでくつろげるスペースも！



野菜たっぷりの焼肉ビビンバ丼



新定番の獨協カレー



熱々の鉄鍋料理も提供！

## 獨協大学の防災

～安心安全なキャンパスライフのために



### 〈全学生対象〉 安否確認サービス利用登録しましたか？

本学では、災害時に学生の安全状況を確認するため、セコム「安否確認サービス」を導入しています。災害時に自身の状況を報告できるよう、利用登録を行ってください。

#### ■ 利用登録の手順(スマートフォンの場合)

##### 1. e-革新サービスへログイン

https://www.e-kakushin.com/login/

ログインに必要な企業コード、ID、パスワードは獨協大学Webメールにお送りしています。

##### 2. 本人情報の変更

画面右上の「メニュー」→「アカウント管理」→「パスワード変更」から初期パスワードを変更後、図1のページ最下部の「本人情報を変更する」を押し、必要な情報登録、修正を行ってください。特に図2の3項目については、各自で追加の登録をお願いします。

図1

図2

利用登録、利用方法の詳細はPorTaIIダウンロードセンターで公開しています。  
PorTaII > ダウンロードセンター > 防災 > セコム安否確認サービス  
問い合わせ先: 総務課 TEL. 048-946-1785



二次元コードからe-革新サービスのログイン画面にアクセス！



#### 防災マニュアル

安否確認サービスの利用方法、学内避難経路など役立つ情報を携帯サイズの「防災マニュアル」に掲載しています。



防災マニュアル▶

#### 毎年10月に防災訓練を実施します

2026年10月28日(水) 15:05～  
※3限目授業終了10分前から避難放送開始

## DOKKYO SDGs

Sustainable Development Goals

### 獨協大学のSDGsに関する取り組み

4月に入学した新入生の皆さん、そしてこの冊子でSDGsの記事に興味を持ってくださった皆さん、獨協大学でどのようなSDGsに関する取り組みを実施しているかご存じでしょうか？本学のSDGsの取り組みを知る方法は3つあります。

#### 1. 学内掲示で確認

中央棟1階の給水器の上とCLEAS(クレアス)の隣に掲示板があります。ここでは、SDGsに関するゼミや団体の取り組みを掲示しています(掲示希望の方は、中央棟2階総合企画課までお越しください)。

#### 2. ホームページで確認

大学HPのトップページバナーをクリック、もしくは大学HPの検索窓から「SDGs」と入力すると、「獨協大学×SDGs」のページが表示されます。SDGsに関する本学の方針やニュース記事がまとめられています。

#### 3. 「SDGs報告書」で確認

大学ニュースのラックや中央棟2階総合企画課前などに冊子媒体が置かれているほか、右上の二次元コードを読み込むとWeb版をご覧いただけます。報告書の裏表紙には1年間の活動も掲載されています。

ぜひ、獨協大学のSDGsの取り組みを調べてみましょう。そして、皆さんが取り組んだSDGs活動をぜひ教えてください。

### 獨協大学 × SDGs



大学の先生方が執筆された  
新刊情報をお届け!

2026 SPRING

04

半田 滋 (言語文化学科非常勤講師) 著  
『半田滋の新・安全保障論「安倍政治」の現在地』  
あけび書房 2025年11月  
本体2200円 (税別)



高市政権は「安倍政治」の再来か? 第二次安倍政権後の菅・岸田・石破政権の軍拡路線を検証する「週刊金曜日」好評連載を全て掲載。

08

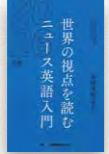
森 勇 (名誉教授) 編著  
『ドイツ弁護士職業法研究』  
中央大学出版部 2025年12月  
本体8300円 (税別)



本書は、「憲法秩序と弁護士職業法」を道しるべとしたドイツ弁護士職業法上の課題に関する一連の論考を収録するとともに、わが国ではこれからの課題となる「訴訟ファイナンス」について取り上げます。

12

倉林 秀男 (交流文化学科非常勤講師) 解説  
『世界の視点を読む ニュース英語入門 2026年版』  
ジャンタイムス出版 2026年1月  
本体1200円 (税別)



1年の国内・海外ニュースを英語で振り返ります。英文と語彙の理解に役立つ解説つきで、最新の国際情勢に触れながら英語力を伸ばしたい方に最適。ニュース英語の特徴、分野別重要語彙リスト (用例つき)、目的別おすすめ学習法など、記事以外にも充実の一冊です。

16

木藤 茂 (法律学科教授)、服部 麻理子 (総合政策学科教授) 分担執筆  
『高橋滋先生古稀記念論文集 社会の変革と行政法学 —法解釈と法政策の探究—』  
弘文堂 2026年2月  
本体16000円 (税別)



高橋滋法政大教授 (一橋大学名誉教授) の古稀を記念して出版された記念論文集。木藤教授は、行政責任の憲法上の定位をめぐる日本国憲法65条・66条3項・73条の整合的解釈の試論を、服部教授は、行政上の制裁に関するフランス法の状況を概観する論考を、それぞれ献呈しています。

01

野村 容康 (経済学科教授) 分担執筆  
『テキストブック租税論 [改訂版]』  
創成社 2025年9月  
本体3600円 (税別)



現代社会を支えるための税制はどうか。税に関する基礎理論から実施面での課題まで徹底解説。最新の税制改正やその後の議論の動向を反映するとともに、「課税の簡素性」に関する章を新たに追加した最新版です。

05

犬井 正 (名誉教授) 著  
『三富新田風土記 耕田林園から世界農業遺産へ』  
さきたま出版会 2025年11月  
本体2200円 (税別)



食の安全と環境を守る伝統的農業システムを今世界が注目。日本の農業のありように一石を投じる。所沢市、三芳町にまたがる三富新田の歴史を紐解き、江戸時代から現在まで、何世代にもわたり受け継がれてきた「落ち葉を使った堆肥で土地改良を行う農法」を未来につなぎます。

09

柴原 早苗 (英語学科非常勤講師) 分担執筆  
『通訳者・翻訳者になる本2027』  
イカロス出版 2026年1月  
本体2000円 (税別)



初心者からプロの通訳者・翻訳者になるまでの道のりを、段階的にやさしく解説した入門MOOK。第一線で活躍する通訳者・翻訳者11名にインタビューした「仕事のやりがい現場のリアル」、50万部のヒット書籍を生み出す編集者が語る「翻訳者に求められる力」など、現場の最新情報と確かなノウハウを凝縮しました。

13

宗田 貴行 (国際関係法学科教授) 著  
『優越的地位の濫用と私法理論』  
法律文化社 2026年1月  
本体6800円 (税別)



日常生活において、サブスクリプションや公共料金に不当に値上げされたと感じることはないでしょうか。EUを参考に、そのような不当な値上げにつき、サービス提供者の消費者に対する優越的地位の濫用として、私法上信義原則に基づいて規制する方法を提言します。

17

松本 健太郎 (英語学科教授) 共著  
『デジタル時代の妖怪学 不可視のものを可視化する営為』  
笠間書院 2026年3月  
本体3800円 (税別)



現代の妖怪や怪異は、スマホやインターネットなどのデジタル技術によって可視化され、恐怖の増幅させるリアルな存在として立ち現れます。現代における妖怪の在り方を通して、現代社会とそこに生きる人間の姿が浮かび上がる。

02

吉川 信将 (法律学科教授) 分担執筆  
『下級審商事判例評釈 第一巻 (平成二一年〜二五年)』  
慶應義塾大学出版会 2025年10月  
本体13300円 (税別)



慶應義塾大学商法研究会による「下級審商事判例評釈」シリーズの11冊目。紀要「法学研究」に掲載された平成21年から25年の下級審商事判例評釈54件を収録。企業社会の「今」を映し出す多様な下級審商事判例の研究を通じ、商法のあるべき法理を追究します。

06

清水 雄大 (フランス語学科非常勤講師) 共訳  
『ミシェル・フーコー講義集10 主体性と真理』  
筑摩書房 2025年12月  
本体6300円 (税別)



性道徳が変わらずとも、それを生きる主体の真理は変わっていく。古代の性道徳はいかなる仕方でも経験されてきたのか。古代ギリシア・ローマとキリスト教とは性的経験がどう変化したのか。古代文献の精緻な読解によって、フーコーは性、主体、真理をめぐる経験の変容を浮かびりにします。

10

玉井 昇 (交流文化学科教授) 編著  
『教科書が伝える日本統治と戦争の記憶 ミクロネシアと周辺地域の歴史教育比較』  
明石書店 2026年1月  
本体3000円 (税別)



日本によるかつての支配や戦争の記憶はどのように形成されてきたのか。太平洋島嶼国・地域における日本統治時代と第二次世界大戦期に焦点を当て、歴史教科書を比較分析することで、そうした記憶がいかに継承・再構成されてきたかを明らかにします。

14

高橋 均 (名誉教授) 著  
『監査役監査の実務と対応 (第9版)』  
同文館出版 2026年1月  
本体4200円 (税別)



法的論点を踏まえ、監査方針・計画の策定から期中・期末に至るまでの報告書の作成・公表まで、豊富な様式や事例とともに詳解。実務上の最新情報やトピックを踏まえて改訂した最新版。法制度と実務の両面から解説しており、多くの読者から支持を得ているバイブル的書籍。

18

和田 一郎 (言語文化学科教授) 著  
『大人になっても消えない 重荷を抱える人のための 生きづらさの手放し方』  
KADOKAWA 2026年3月  
本体1600円 (税別)



本書は、近年のデータサイエンスで明らかになったACEs (逆境的小児期体験) を軸に、過去の傷がどのように現在の心身、そして人生の選択に影響を与えているかを解き明かします。生きづらさを抱える自分を責め、一人で頑張り続けるのではなく、自分を育てる旅とおとして回復への道へ導く一冊です。

03

齊藤 毅 (言語文化学科非常勤講師) 著  
『石原吉郎の詩の構造 他者、言語、世界』  
法政大学出版局 2025年11月  
本体3800円 (税別)



シベリアの強制収容所を生き延びた詩人・石原吉郎 (1915~1977)。難解さで知られる詩人のテキストの「構造」に初めて全面的に焦点をあて、解きほぐす画期的な試み。詩の構造を精緻に分析することでしかその核には迫れない。生誕110年、石原作品読解の到達点となる1冊。

07

石井 保雄 (名誉教授) 著  
『沼田稲次郎の労働法学 その思索と生涯』  
旬報社 2025年12月  
本体7000円 (税別)



戦後労働法学は80年に近い時間を重ねてきた中で、当初から大きく二つの理論的潮流が対抗していたといわれます。本書は、その潮流のひとつである「プロレタリア労働法学」をけん引し、多くの労働法学者の支持・共感を集め、学界の主流を占めた沼田稲次郎 (1914~1997年) の研究の軌跡を通じ、その思索と生涯を追った研究書です。

11

北野 収 (交流文化学科教授) 訳・解説、(スティーブン・エロール・シューベ) 著  
『労働者協同組合とフェアトレード —地域と世界をむすぶ運搬ビジネス—』  
彩流社 2026年1月  
本体3500円 (税別)



協同組合運動の聖地カナダ・ノバスコシア州で育まれた歴史と思想を背景に、ジャストアズ・トゥ・ザ・フェアトレードの理念や組織の成長・継承、メキシコ・オアハカ州のUCIRI組合 (国際認証制度発祥団体) との関係を通じ、協同の意味と連帯経済の可能性を考えます。

15

渡部 奈々 (言語文化学科非常勤講師) 分担執筆  
『現代ラテンアメリカ社会を知るための47章』  
明石書店 2026年2月  
本体2400円 (税別)



水質汚染、採掘主義、国家暴力、グローバリズム、マイノリティ差別といった、ラテンアメリカで現在進行中の社会問題について、ポスターレスな経済圏や文化の中でローカルに連帯し、つながる人々の生き方をミクロな視点から捉えつつ、これまでの国家や枠組みの在り方を問い直します。

19

福永 文夫 (名誉教授) 著  
『日本社会党 —「戦後革新」とは何だったのか—』  
岩波書店 2026年3月  
本体1200円 (税別)



戦後日本の政党政治は、日本国憲法の制定と日本社会党の有力政党化によって象徴される。社会党は護憲と安保反対を主張し、長く野党第一党として自民党に対峙し、戦後史を形成してきた。やがて冷戦の終焉とともに政治の舞台から退場した。本書は「戦後革新」とは何だったのか、もう一つの戦後政治史を紐解きます。

父母の会助成 キャンパスメンバーズ&大学パートナーシップ

芸術・文化に触れよう! —文化施設利用制度のご案内

学生証の提示で美術館・博物館等への入場が無料 (割引) になります。



東京国立近代美術館  
1952年に開設された日本初の国立美術館で、絵画・彫刻・水彩・素描・版画・写真など、さまざまな作品を所蔵している。  
東京メトロ東西線 竹橋駅下車



東京国立博物館  
日本を軸に東洋のさまざまな地域の文化財を収集・保管し、一般に公開している。お薦めは重要文化財にも指定されている本館 (日本ギャラリー)。  
JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



国立科学博物館  
日本で唯一の国立の科学博物館であり、展示されているものを含め、収蔵品の数は500万点を超える。  
JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



江戸東京たてもの園  
都立小金井公園の中に位置し、敷地面積約7ヘクタール。現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示している。  
JR中央線 武蔵小金井駅下車



彩の国さいたま芸術劇場  
1994年オープン。の劇場。シェイクスピア全37作品を上演した「彩の国シェイクスピア・シリーズ」をはじめ、質の高い演劇、舞踊、音楽公演を実施している。  
JR埼京線 与野町駅 (西口) 下車



草加市文化会館  
草加市に内外から一流の芸術家を招へいし、質の高い芸術を鑑賞する場を市民に提供している。  
東武スカイツリーライン 獨協大学前 (草加松原) 駅下車

その他、下記施設でも制度が適用されます。

- ▶ 国立科学博物館 附属自然教育園 ▶ 筑波実験植物園 ▶ 国立劇場 (閉場中) ▶ 国立工芸館 (石川県金沢市) ▶ 国立西洋美術館
- ▶ 国立新美術館 ▶ 国立映画アーカイブ ▶ 江戸東京博物館 ▶ 東京都美術館 ▶ 東京都現代美術館 ▶ 東京都写真美術館
- ▶ 東京都庭園美術館 ▶ 東京芸術劇場 ▶ 東京文化会館 ▶ 埼玉会館

※特典内容、開館時間、休館日等の詳細は、各施設公式ホームページをご確認ください。 (大学HP美術館・博物館等の利用特典制度)



ぶ-ら-り-ら-い-ぶ-ら-り

Vol.118

大学生活の中心、図書館へ行こう!

新年度がスタートして、1か月が経ちました。皆さん、図書館をもう利用しましたか? 図書館では資料の利用提供以外でも、皆さんの学習を様々な形でサポートしています。大学生活の中心となる図書館に行ってみよう!

STEP 01 入館・退館

出入口は、1~3階の各階にあります。ゲートに学生証をかざして入館します。  
※1~3階は開館時間中、2階は授業期間の平日10:00~17:30に利用できます。



STEP 02 資料の配置

100万冊を超える資料を所蔵しています。同じテーマの図書・雑誌・参考図書は、同じ階に揃っているので、特定分野の資料を探しやすいのが特長。自分の学部学科に関する資料の場所を確認しよう。資料は自動書庫にもあります。

3階	芸術、言語、文学
2階	社会科学、自然科学、技術・工学、産業
1階	総記、哲学、歴史

STEP 03 貸出・返却

資料と学生証を持って、メインカウンター (1階) または3階カウンターで手続きを行ってください。1階には、学生証をタッチしてセルフで貸出できる便利な「自動貸出機」もあります (返却は不可)。

区分	貸出冊数	貸出期間
学部学生	20冊	14日 (図書・雑誌共通)
大学院生	30冊	図書:30日 雑誌:14日

STEP 04 資料相談

資料探しなどで困った時は、レファレンスカウンター (1・2階) で相談しよう。レポート・論文の書き方や、データベースの使い方などの質問も受け付けています。MyLibrary経由でオンラインからでも質問できます。気軽に利用してください。

STEP 05 閲覧席

個人利用にもグループ利用にも対応した、多種多様な閲覧席を用意しています。学習スタイルに合わせて、利用してください。お気に入りの席を見つけよう。



★図書館学生サポーター「BiVS (ビボス)」

さまざまな学部・学年のメンバーが集まって、資料の展示などを企画・実施しています。現在、新メンバーを募集中!一緒に図書館を盛り上げる活動をしていませんか?



BiVS X

BiVS Instagram

図書館 X



